

株主通信 第35期 中間事業報告書

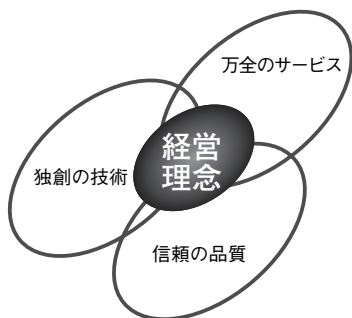
(平成15年4月1日から平成15年9月30日まで)



メック株式会社

証券コード：4971

ホームページ：<http://www.mec-co.com/>



ご挨拶

株主の皆様におかれましては益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援、ご高配を賜わりまして有難うございます。

当社の第35期中間期（平成15年4月1日から平成15年9月30日まで）の事業の経過と成果につきご報告申し上げます。

当中間期の電子基板業界は、カメラ付携帯電話やデジタル機器向け等のフレキシブル基板や高精細基板の伸びにより比較的堅調に推移しました。また、世界の各地域や業界各社の戦略の差別化、多様化が鮮明になってまいりました。

このような状況の中、当社はMPUパッケージ基板に代表される各種高精細基板に対応する薬品の開発、マーケティングに注力するとともに、世界市場をターゲットとする汎用多層基板用の薬品の拡販に取り組み、着実に成果を挙げつつあります。現在最大の成長市場である東アジア市場においては、販売供給網を急ピッチで強化・整備してまいりましたが、その結果として、中国・台湾における業績も継続的に伸長しております。

また、会社の経営管理体制の改革に関しましては、監査役機能の強化、指名報酬諮問委員会の設置や執行役員制の導入等により、公正で透明な経営と迅速で的確な意思決定・情報開示へのさらなる取り組みを推進中です。

今後とも一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 最高経営責任者

前田和夫

営業の経過および成果

当中間連結会計期間における世界経済は、米国経済の活況がアジア、ヨーロッパ主要国経済を潤し、緩やかな回復基調に入っており、IT関連企業の設備投資の持ち直しなど底離れの局面を迎えております。しかしながら、わが国においては雇用、所得面の不安から個人消費は依然低調で、先行きの不透明な状況が完全に払拭されてはおりません。

このような経済環境下でSARSやイラク戦争等の逆風はあったものの、カメラ付携帯電話やデジタル機器、ノート型パソコン、薄型TV等が好調に推移し、当社グループの顧客である電子基板業界も高密度・高細線電子基板とフレキシブル基板を中心として比較的堅調に推移いたしました。

当社グループにおいては、電子基板用薬品の新製品開発とその販売拡大に注力するとともに、製品原価の低減に取り組みました。新製品開発につきましては、当中間連結会計期間中に9品目の販売を開始し、特許は7件出願いたしました。新製品では汎用多層電子基板製造に用いられる黒化処理代替薬品のBO-7770Vの採用が5件決定いたしました。販売面では中国を中心とする東アジアでの電子基板製造急増に対応するための基盤整備と、需要拡大が続く高密度フレキシブル基板用途への販売拡大を図りました。

品種別販売実績につきましては、電子基板用薬品は高密度・高細線電子基板製造に用いられるCZシリーズを中心とする銅表面処理剤が日本と台湾で増加いたしました。主に汎用電子基板製造に用いられるメタルレジスト剥離剤、フラックス剤および防錆剤は微減となりました。電子基板用機械は、企業の設備投資の持ち直しを背景に増加いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は売上高が29億36百万円（前年同期比6.6%増）となり、営業利益は4億63百万円（同51.6%増）、経常利益は4億13百万円（同52.2%増）、中間純利益は2億47百万円（同94.6%増）となりました。

対処すべき課題

電子基板業界は、中国を中心とする東アジアに生産拠点が集中する傾向になっており、日本・欧州・米国の基板メーカーは生き残りをかけた企業間競争がさらに激しくなっております。

このような状況下において、当社の対処すべき課題は以下のとおりであると認識しております。

①フレキシブル基板および汎用多層基板向け薬品の充実と販売の強化

日本国内においては、フレキシブル基板がデジタルカメラや携帯電話に幅広く用いられており、今後急速に市場が拡大すると考えております。また、汎用多層基板は巨大市場に成長中の中国を中心に需要が拡大しており、さらに日本国内においては、車搭載機器向けの基板の生産が増加しております。

このため当社では市場拡大が見込まれるフレキシブル基板向けと汎用多層基板向けの製品開発と販売に注力いたします。

②海外での主要顧客の獲得

当社は日本国内においてほとんど全ての電子基板メーカーと取引をさせていただいております。しかしながら海外においては、いまだ顧客の獲得が十分ではありません。

当社では海外において有力顧客の獲得を目指し、営業・研究・製造の連携を強化し、新規顧客の獲得と既存顧客の技術支援に全力を尽くしてまいります。

これらの戦略展開により、当社は世界の電子基板業界において、銅表面処理を中心にオンリーワンないしナンバーワンの領域を複数件保有する企業グループを目指し、継続的で高い成長を実現すべく全力を尽くしてまいります。また、化学薬品メーカーの責務として地球環境保全の観点から、使用済み薬品リサイクルシステムの構築や環境に配慮した製品開発を進めてまいります。

① 黒化処理代替プロセスBO-7770Vを発売

当中間期中に多層電子基板製造用薬品のBO-7770Vを発売いたしました。BO-7770Vは、多層電子基板を積層する際の前処理工程プロセス[※]で、従来当社が対象製品を持たなかった工程で使用されます。従来の工法では、銅表面を化学処理によって酸化銅を形成することにより、樹脂との密着を向上させ、酸化銅化した銅表面は黒く変色するため黒化処理と呼ばれております。

BO-7770Vは当中間期に4社で採用が決定いたしました。メックではさらなる採用拡大を目指し努力しております。

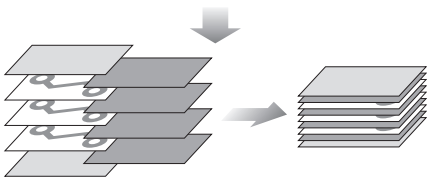
注) 積層工程前処理プロセス



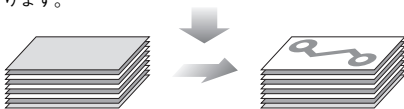
全面に銅箔が張られた基材から配線パターンを形成します。基材の厚みは通常100~200 μm です。パターンの幅厚みは50~200 μm が一般的です。



樹脂と配線パターンの密着を上げるため黒化処理を行います。BO-7770Vは、コンベヤー方式のため15分の処理で完了します。バッチ方式のため40分の処理が必要な黒化処理と比較して大幅な生産性の向上が実現できます。



各配線パターンの間に樹脂を挟みこみます。枚数は2~4枚が一般的ですが、10枚や20枚も一部あります。この枚数により6層電子基板等の多層電子基板となります。



熱プレスで処理することで、層間の密着性を高めて、1枚の板状にします。積層後の厚みは0.6~1.6mmが一般的です。

最後に外側の面の配線を作成し、多層電子基板が完成します。

② フレキシブル電子基板用薬品の拡充

フレキシブル基板製造に用いられるNHシリーズとCHシリーズの開発を完了し、販売を開始いたしました。NHシリーズはニッケル除去剤で、CHシリーズはニッケル・クロム合金除去剤^{注1)}です。

フレキシブル電子基板はリジッド電子基板^{注2)}と比較して、軽量で自由に曲げることが可能なために携帯電話やノート型パソコン等の軽量化と需要拡大に伴い、日本において生産量が急増しております。当社ではこれまでフレキシブル基板向けの製品を充実化するための研究開発を急ピッチで進めておりました。

当中間期中に複数の有力なフレキシブル電子基板メーカーとの間で採用に向けた試験を開始いたしました。今後フレキシブル電子基板用薬品の開発に努め、当分野での販売を拡大する所存であります。

注1) ニッケルやニッケルクロムは、銅と比較してフレキシブル基板に使用されているポリイミドとの密着が高い金属のため、ポリイミドの導電化に使用されております。

注2) リジッド電子基板は、基材としてエポキシ樹脂やフェノール樹脂などの硬質板を使用しており、折り曲げることができない電子基板です。



携帯電話に用いられているフレキシブル電子基板

中間連結貸借対照表（要約）

科 目	当中間連結会計期間 平成15年9月30日現在	前連結会計年度 平成15年3月31日現在
資産の部	千円	千円
流動資産	4,232,004	4,080,779
現金及び預金	1,802,170	1,787,638
受取手形及び売掛金	1,969,331	1,798,309
有価証券	50,000	50,000
たな卸資産	257,717	260,373
繰延税金資産	61,260	58,852
その他	99,203	132,493
貸倒引当金	△ 7,680	△ 6,887
固定資産	3,005,104	2,974,883
有形固定資産	2,285,613	2,300,792
建物及び構築物	1,119,220	1,149,608
機械装置及び運搬具	258,484	256,912
土地	805,451	797,477
その他	102,456	96,793
無形固定資産	95,185	103,915
投資その他の資産	624,305	570,174
繰延資産	2,042	—
開業費	2,042	—
資産合計	7,239,150	7,055,663
負債の部		
流動負債	1,653,368	1,662,170
支払手形及び買掛金	646,161	677,475
短期借入金	578,676	638,208
1年以内返済予定長期借入金	2,892	5,237
未払法人税等	125,339	70,507
賞与引当金	110,900	110,210
その他	189,398	160,531
固定負債	682,129	682,703
社債	200,000	200,000
長期借入金	225,866	223,140
役員退職慰労引当金	240,890	245,390
その他	15,373	14,172
負債合計	2,335,498	2,344,874
少数株主持分	54,270	45,079
資本の部		
資本金	594,142	594,142
資本剰余金	446,358	446,358
利益剰余金	3,792,725	3,667,007
その他有価証券評価差額金	40,189	△ 5,100
為替換算調整勘定	△ 24,033	△ 36,698
資本合計	4,849,381	4,665,709
負債、少数株主持分及び資本合計	7,239,150	7,055,663

中間連結損益計算書（要約）

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
	千円	千円
売上高	2,936,440	5,510,551
売上原価	1,218,691	2,313,859
売上総利益	1,717,748	3,196,692
販売費及び一般管理費	1,254,706	2,525,966
営業利益	463,042	670,725
営業外収益	34,415	59,881
営業外費用	83,653	133,359
経常利益	413,804	597,247
特別利益	2	118,305
特別損失	1,892	133,019
税金等調整前中間(当期)純利益	411,914	582,532
法人税、住民税及び事業税	163,213	156,833
法人税等調整額	—	110,425
少数株主利益	1,126	8,482
中間(当期)純利益	247,574	306,790

中間連結剰余金計算書

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
	千円	千円
(資本剰余金の部)		
資本剰余金期首残高	446,358	446,358
資本剰余金中間期末(期末)残高	446,358	446,358
(利益剰余金の部)		
利益剰余金期首残高	3,667,007	3,439,359
利益剰余金増加高	247,574	306,790
中間(当期)純利益	247,574	306,790
利益剰余金減少高	121,856	79,142
配当金	101,856	76,392
役員賞与	20,000	2,749
利益剰余金中間期末(期末)残高	3,792,725	3,667,007

中間連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

科 目	当中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
	千円	千円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	303,052	540,918
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 55,614	△ 250,645
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 166,785	△ 202,596
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 35,384	△ 23,541
V. 現金及び現金同等物の増加額	45,268	64,135
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	1,273,544	1,209,409
VII. 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	1,318,812	1,273,544

中間単独貸借対照表（要約）

科 目	当中間期	前期
	平成15年9月30日現在	平成15年3月31日現在
資産の部	千円	千円
流動資産	3,020,880	3,061,015
現金及び預金	1,088,305	1,209,667
受取手形	538,477	580,492
売掛金	1,055,195	911,809
有価証券	50,000	50,000
たな卸資産	154,497	147,146
繰延税金資産	39,067	39,067
その他	96,567	123,986
貸倒引当金	△ 1,229	△ 1,154
固定資産	3,167,987	3,172,341
有形固定資産	2,059,771	2,083,729
無形固定資産	60,316	64,186
投資その他の資産	1,047,899	1,024,424
資産合計	6,188,868	6,233,356
負債の部		
流動負債	1,237,932	1,302,495
支払手形	393,382	366,748
買掛金	146,631	204,710
短期借入金	430,000	500,000
未払金	101,376	77,024
未払法人税等	11,901	—
賞与引当金	110,900	110,210
その他	43,739	43,802
固定負債	642,090	646,340
社債	200,000	200,000
長期借入金	200,000	200,000
役員退職慰労引当金	240,890	245,390
その他	1,200	950
負債合計	1,880,022	1,948,835
資本の部		
資本金	594,142	594,142
資本剰余金	446,358	446,358
資本準備金	446,358	446,358
利益剰余金	3,228,156	3,249,121
利益準備金	63,557	63,557
任意積立金	2,900,125	2,800,278
中間(当期)未処分利益	264,473	385,284
その他有価証券評価差額金	40,189	△ 5,100
資本合計	4,308,846	4,284,521
負債・資本合計	6,188,868	6,233,356

中間単独損益計算書（要約）

科 目	当中間期	前期
	平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで	平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで
	千円	千円
売上高	2,225,864	4,234,132
売上原価	964,934	1,845,062
売上総利益	1,260,929	2,389,070
販売費及び一般管理費	981,350	2,000,612
営業利益	279,579	388,458
営業外収益	11,919	55,266
営業外費用	70,661	114,814
経常利益	220,837	328,909
特別利益	2	111,484
特別損失	70,626	122,806
税引前中間(当期)純利益	150,213	317,587
法人税、住民税及び事業税	49,321	55,907
法人税等調整額	—	80,859
中間(当期)純利益	100,892	180,820
前期繰越利益	163,581	204,463
中間(当期)未処分利益	264,473	385,284

会社概要

●会社概要 (平成15年9月30日現在)

- 商号 メック株式会社
- 本社 兵庫県尼崎市昭和通3丁目95番地
 アマックスビル
- 会社設立 1969年5月1日
- 資本金 594,142,400円
- 代表者 代表取締役社長 前田 和夫
- 事業内容 電子基板製造用薬品、機械装置及び各種資材の製造販売

■役員

- 取締役会長 前田 耕作
- 代表取締役社長 前田 和夫
- 取締役専務執行役員 内野 登一
- 取締役常務執行役員 平川 洋一
- 取締役 石井 正人

- 執行役員 溝口 芳朗
- 執行役員 三田 明
- 執行役員 神田 寛
- 執行役員 松下 太郎
- 執行役員 牧 善朗
- 執行役員 長瀬 光成

- 監査役 藤山 正人
- 監査役 高岡 忠
- 監査役 腰高 修
- 監査役 関川 正之

(注) 取締役石井正人は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める社外取締役であり、監査役高岡 忠と監査役関川正之は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

会社概要

●事業所

■東京営業所

東京都立川市栄町6丁目1番1号 立飛ビル7号館7階
TEL. (042) 538-1080 (代) FAX. (042) 538-1090

■新潟営業所／長岡工場

新潟県長岡市西陵町221番地36
TEL. (0258) 47-2490 (代) FAX. (0258) 47-2492

■西宮工場

兵庫県西宮市鳴尾浜2丁目1番19号
TEL. (0798) 46-8588 (代) FAX. (0798) 46-8688

■研究所

兵庫県尼崎市東初島町1番地
TEL. (06) 6401-8170 (代) FAX. (06) 6401-8172

●海外子会社

■メック台湾[台湾美格股份有限公司]

中華民國台湾省桃園縣蘆竹鄉内厝村内溪路15號
TEL: 886-3-324-3455 FAX: 886-3-324-5228

■メック香港[香港美格有限公司]

香港新界小瀝源安平街8號偉達中心6字樓2室
TEL: 852-2690-2255 FAX: 852-2690-2262

■メック珠海[美格精細化工(珠海)有限公司]

中華人民共和國廣東省珠海市三灶科技工業園東組団

■メック中国(蘇州)[美格特殊化学(苏州)有限公司]

中華人民共和國江苏省苏州市苏州工业园区苏虹西路155号
TEL: 86-512-6745-1990 FAX: 86-512-6745-1993

■メックヨーロッパ[MEC EUROPE NV.]

Kaleweg 24-26, B-9030 Gent, Belgium
TEL: 32-9-216-7272 FAX: 32-9-216-7270

株式状況

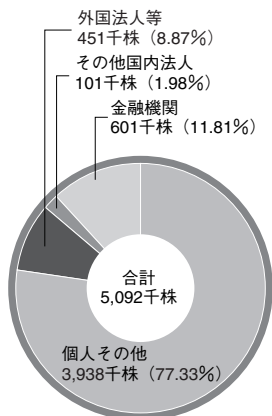
●株式状況 (平成15年9月30日現在)

■発行済株式の総数	5,092,848株
■株主数	590名
■大株主 (上位10名)	

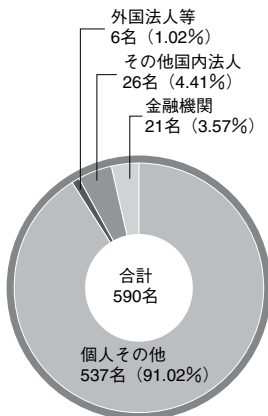
株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
前田耕作	626	12.29
川邊豊	564	11.07
小林義雄	543	10.67
小垣守	499	9.79
腰高修	367	7.20
ゴールドマンサックスインターナショナル	341	6.70
メック従業員持株会	198	3.88
前田和夫	160	3.14
日興シティ信託銀行(株)(投信口)	147	2.89
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	135	2.65

■株式分布状況

<所有者別の持株数>



<所有者別の株主数>



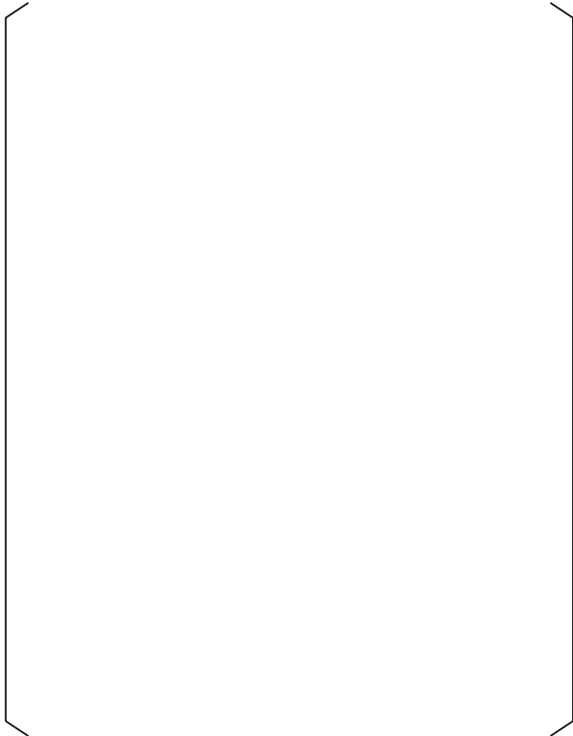
株主メモ

決 算 期	毎年3月31日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
1単元の株式の数	100株
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
基 準 日	定時株主総会については3月31日、その他必要ある場合はあらかじめ公告する一定の日
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒541-8502 大阪府中央区伏見町3丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 電話 06 (6229) 3011 (代表) 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行株式会社の電話及びインターネットでも24時間承っております。 ○電話 (通話料無料) 0120-24-4479(本店証券代行部) 0120-68-4479(大阪支店証券代行部) ○インターネットホームページ http://www.ufjtrustbank.co.jp/
同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞 決算公告は、掲載いたしません。弊社ホームページをご覧ください。 (http://www.mec-co.com/jp/zaimu/)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所ヘラクレス市場
証 券 コ ー ド	4971

株主様アンケート

株主の皆さまのご意見を拝聴させていただきたく、アンケートを実施させていただきます。お手数ではございますが、以下のアンケートにご記入の上、ご投函いただければ幸いです。

Q1 | 弊社に対してご意見・メッセージ等あればご記入ください。



ご協力ありがとうございました。

郵便はがき

660-8790

料金受取人払



差出有効期間
平成16年3月
31日迄
(切手不要)

兵庫県尼崎市昭和通3丁目95番地
アマックスビル

メック株式会社

社長室 行



※お差し支え無ければお名前等をお知らせください

お名前							様
ご住所	〒□□□-□□□□						
電話	()	性	1.男性	年	満	ご職業	
話	-	別	2.女性	齡	才		

MMEC メック株式会社

本社
〒660-0881 兵庫県尼崎市昭和通3丁目95番地
アマックスビル
TEL. (06) 6414-3451 (代)
FAX. (06) 6414-3455



●ホームページもご覧ください▶ <http://www.mec-co.com/>